



【物語設定は平家物語から】
『平家物語』の一章「実盛最期」が背景になっています。12世紀末、篠原の戦いで、平家方の斎藤別当実盛が72歳の老体ながら、ただ一騎で奮戦、最後に源氏方の手塚太郎光盛に討ち取られる場面が語られます。

その話が民間に伝わる間に、実盛が討たれたのは、実盛が乗る馬が稲の切り株につまずいたからで、それを恨んで実盛は稲を喰らう害虫のウンカになった、という伝承が生まれました。そして、ウンカを「さねもり虫」と呼ぶようになったのです。ちなみに、田主丸では、実盛自身が稲株につまづいた、という話になっています。

【準備から当日の祭りの流れ】

- ◎開催1カ月前：人形作りと馬修繕
2体の人形は、祭りのために、JAに田主丸地区青年部が5日程度で新しく作ります。大馬は第1回から45年間ずっと使用されており、必要な部分だけ修繕します。
- ◎2週間前：小屋入り
練習を目前にした決起大会です。JA幹部や歴代の青年部長などを招待して、一同で士気を高めます。
- ◎12日前：練習開始
開催前日まで平日の10日間、JAに田主丸野菜集荷場で朝6時から7時過ぎまで行われます。期間の前半は人形の練習、後半は大馬も入ったの総合練習となります。
- ◎前日：川の場合整備
最後の朝練習で衣装が配布されます。終了後、巨瀬川の川底を整地清掃、川の中に竹柵を設置します。南側の川岸には、業者の方がひな壇式の観客席を設置します。
- ◎当日の朝：田主丸天満宮でお祓い
朝6時過ぎには野菜集荷場に参加者が集まり始め、7時に全体朝礼。田主丸天満宮に移動して、7時半から神事とお祓い、引き続き境内で出陣式を行います。
- ◎当日の午前：耳納の里や田主丸駅
8時半から正午まで車移動しながら、町内の福祉施設や保育施設を回ります。途中、10時半前後に「耳納の里」に寄ります。前回の令和4年は、正午過ぎにJR久大本線田主丸駅に到着する観光列車『或る列車』を迎え、駅前広場で演技しました。

◎当日の昼休み

Aコープ田主丸店に隣接するグリーンパレスで昼食です。

◎当日の昼間：町中を練り歩き

午後2時、人形2体はAコープ田主丸店から歩き出し、板町交差点で二手に分かれ、実盛が田主丸中央商店街の西半分を進みます。中ほどで両人形が出会うと、今度は手塚が東半分を進みます。

午後3時前、月読神社で再び人形は出合います。トラック移動で待機していた大馬も混ざって合戦を行います。その後、手塚は国道210号線を、実盛は雲雀川（ひばりがわ）沿いを西進、豊城（とよき）交差点まで練り歩いて昼の部は終了。一行はグリーンパレスに戻り休憩します。

◎当日の夜：川の中で大合戦

会場は、国道210号線東町交差点の南側すぐの中央橋、その東側です。午後6時から約1時間、激戦が繰り広げられます。

◎終了解散：各支部で打上げ

午後7時半に集合場所の野菜集荷場に戻り、まとめの挨拶で祭りは終了します。参加者は各支部で打上げとなり、祭りの成功を祝います。

※紹介した日時は目安です。
※表紙2～5ページの写真は、令和元（2019）年第15回・令和4（2022）年第16回。